

国共済の年金積立金運用の見直しについて

平成26年4月8日

国家公務員共済組合連合会

運用の見直しに係る対応・検討の状況

項目	対応・検討の状況
<ul style="list-style-type: none"> ● 現在の基本ポートフォリオの枠内での運用の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 市場環境の変化等を踏まえ基本ポートフォリオを見直し (リスク資産の構成割合: 中央値10%→18%、最大値17.5%→30%) ※国内債券の構成割合: 中央値80%→74% ▶ 外国株式アクティブ運用を見直し (ベンチマークの多様化等、投資資金拡大) ▶ 新興国株式投資を導入 ▶ 外貨建資産のノンヘッジ化 ▶ 国内株式アクティブ運用を見直し (現在、公募選定中。ベンチマークの多様化等を予定)
<ul style="list-style-type: none"> ● パッシブ運用における新たなベンチマークの利用 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「JPX日経インデックス400」を採用
<ul style="list-style-type: none"> ● 財政再計算の結果を踏まえた新たな基本ポートフォリオの決定 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 次期財政再計算等と整合的な目標設定を行い、基本ポートフォリオを決定
<ul style="list-style-type: none"> ● 新たな運用対象の追加 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 新たな運用対象については、随時検討

リスク管理等の見直しに係る対応・検討の状況

項目	対応・検討の状況
<ul style="list-style-type: none"> ● 物価や金利の上昇に備えたリスク管理策の検討・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 物価連動国債の購入を再開 ▶ 今後の物価・金利上昇リスクへの対応について、次期財政再計算等を踏まえて検討
<ul style="list-style-type: none"> ● フォワード・ルッキングなリスク分析の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 基本ポートフォリオは、過去10年間の実績をベースにフォワード・ルッキングの視点を加味して構築 ▶ 今後の基本ポートフォリオの見直し時においても、フォワード・ルッキングの視点を加味して構築
<ul style="list-style-type: none"> ● 体制の整備等 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 資金運用部の人員の拡充及び資産運用経験者の採用 ▶ 資産運用委員会の機能強化 ▶ 日本版スチュワードシップ・コードについては、受入れを表明する方向で検討予定

(参考資料)

国家公務員共済組合連合会の積立金運用

総資産額 (2013年3月末)	7.8兆円
--------------------	-------

		《H25.12.26改正後》	《改正前》	
基本 ポ ー ト フ ォ リ オ	国内債券	74%(±16%)	80%(±12%)	
	国内株式	8%(±5%)	5%(±3%)	
	外国債券	2%(±2%)	0%(+1.5%)	
	外国株式	8%(±5%)	5%(±3%)	
	その他	短期資産	4%(±4%)	4%(±4%)
		その他	4%(±4%)	6%(±6%)